令和７年度　シラバス（授業計画）

工芸デザイン科

１年生

共　通　科　目		専　門　科　目	
1	現代の国語	1	工業技術基礎
2	地理総合	2	実習
3	数学Ⅰ	3	製図
4	科学と人間生活	4	工業情報数理
5	体育	5	デザイン実践
6	保健	6	せともの学Ⅰ
7	英語コミュニケーションⅠ		

愛知県立瀬戸工科高等学校

科目名	現代の国語	単位数	2	学年	1	学科	全学科
教科書	標準　現代の国語(第一学習社)			教材等	学習課題集 ニューエイジ現代文基礎 意味から学ぶ常用漢字		
目　標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身につける。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	・本の紹介 ・「なぜ本を読むのか」 ・情報の探索と選択 ・「水の東西」	教科書の内容読解に加えて、 ①漢字テキスト課題 　週に一回の提出。 ②長期休業中・考査前課題 ③作文等 　与えられた課題について、自分の考えを文章にまとめる。 ④スピーチ等の発表 　決められたテーマについて、考えたことを発表する。 も行います。
2学期	・「世界は謎に満ちている」 ・「言語としてのピクトグラム」 ・実用的な手紙文の書き方	
3学期	・「ステレオタイプの落とし穴」 ・「黄色い花束」	

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 授業プリント等	定期考査 授業プリント等 作文課題 発表	長期休業中の課題 考査前学習課題 漢字課題 等

担当者より	この科目では「思考・判断・表現」により重点を置いて評価します。 定期考査だけでなく、漢字課題や学習課題などの日々の勉強と授業内の作文課題や発表などの活動についても積極的に取り組んでください。 また、発表にいたるまでの過程や振り返りなども評価します。前向きに学習しましょう。

科目名	地理総合	単位数	2	学年	1	学科	全学科
教科書	高校生の地理総合(帝国書院)			教材等	高校生の地理総合ノート(帝国書院) 図説地理資料　世界の諸地域NOW (帝国書院)		
目　標	グローバル化が進んでいる世界の国々や人々の暮らしを学び、地理的思考力を養う。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	中学地理の復習 ・日本の都道府県 ・地理的環境 ①世界の気候と生活 ②宗教と言語、生活・文化のグローバル化 世界諸地域の生活・文化と環境 ①オセアニア ②東南アジア ③北アフリカ・西アジア・中央アジア	・日本の地理についての最低限の知識を確認しつつ、高校では世界地理を学びます。 ・民族とは何か。世界三大宗教の内容と信徒の世界的分布の特徴などを学ぶ。 ・日本との関係の深い国々の自然環境や人々の暮らしを学ぶ。 ・近隣諸国との友好関係を維持する方策についても考える。
2学期	④南アジア ⑤ラテンアメリカ ⑥中南アフリカ ⑦ロシア ⑧アメリカ合衆国	・世界の国々の自然環境や人々の暮らしを学ぶ。 ・世界の国々との友好関係を維持する方策についても考える。 ・世界の各地域で生活する人々の生活とその変化について学ぶ。
3学期	⑨中国・韓国 ⑩ヨーロッパ 地球規模で広がる課題 ・人口問題 ・食糧問題 ・資源・エネルギー問題	・各地で形成された特有の文化と自然環境との結びつきについて考える。 ・先進国と発展途上国で抱える人口問題の相違点や、共通点を理解する。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	課題プリント ノート 発表

担当者より	この科目では、「知識・技能」と「思考・判断・表現」にやや重きを置いて評価します。 定期考査だけでなく、発表などに対しても積極的に取り組んでください。 また、レポートについては、学期に2回程度取り組みます。

科目名	数学Ⅰ	単位数	3	学年	1	学科	全学科
教科書	最新　数学Ⅰ　（数研出版）			教材等	パラレルノート数学Ⅰ　（数研出版）		
目　標	数と式、方程式と不等式，二次関数，三角比について理解させ，基礎的・基本的な知識の習得と技能の習熟を図りそれらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	第1章　数と式　　第1節　数と式 1.整式　2.整式の加法・減法・乗法　3.展開の公式　4.式の展開の公式 5.因数分解　6.いろいろな因数分解　7.実数　8.根号を含む式の計算 第2節　実数 9.不等式　10.不等式の性質　11.1 次不等式の解き方　12.連立不等式 13.不等式の利用	①　整式の加法・減法・乗法，及び因数分解を扱い，目的に応じて，式を 1 つの文字に置き換えたりすると複雑な式が簡単な式に帰着でき，公式などを利用して能率よく計算できることなどを理解させ，式の見方を豊かにする。 ②　不等式の性質や解の意味を理解し，1 次不等式を解くことができるようにする。
2学期	第2章　集合と命題 1.集合と部分集合　2.共通部分、和集合、補集合　3.命題と集合 4.命題と証明 第3章　2 次関数 第1節　2 次関数とグラフ 1.関数　2.関数とグラフ　3.y=ax2 のグラフ　4.y=ax2+q のグラフ 5.y=a(x-p)2 のグラフ　6.y=a(x-p)2+q のグラフ 7.y=ax2+bx+c のグラフ　8.2 次関数の最大・最小　9.2 次関数の決定 第2節　2 次方程式と 2 次不等式 10.2 次方程式　11.2 次関数のグラフと x 軸の共有点　12.2 次不等式 13.2 次不等式の利用	①　集合の包含関係を用いるなどして必要条件，十分条件，対偶などを理解させ，論理的な思考力の伸長を図る。 ②　関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識し，それを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 ③　2 次関数について理解し，平行移動の考え方を利用して，そのグラフの概形をかけるようにする。また，与えられた放物線のグラフからその 2 次関数を求められるようにする。 ④　2 次関数の最大・最小を理解し，それを具体的な事象の考察に活用できるようにする。 ⑤　2 次関数のグラフと x 軸との位置関係を利用して，2 次方程式や 2 次不等式の解について理解を深め，2 次不等式を解くことができるようにする。
3学期	第4章　図形と計量 第1節　三角比 1.鋭角の三角比　2.三角比の利用　3.三角比の相互関係 4.三角比の拡張　5.三角比が与えられたときの角　6.正弦定理 7.余弦定理　8.　三角形の面積　9.図形の計量 第5章 1.データの整理　2.データの代表値　3.データの散らばり　4.四分位範囲 5.データの相関　6.相関係数　7.表計算ソフトによるデータの分析	①　三角比の意味と基本的な計量について理解する。また，三角比の間に成り立つ関係を利用して三角比の値を求められるようにする。 ②　180°　までの鈍角の三角比について理解する。 ③　正弦定理と余弦定理を利用して，未知である辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。 ④　三角比を利用して，さまざまな図形の面積や体積を求めることができるようにする。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	授業中の様子 ノート、問題集、課題の取り組み 定期考査の振り返りシート

担当者より	この科目では「知識・技能」と「思考・判断・表現」により重点を置いて評価をします。主体的に取り組む態度についても評価に関わる割合は小さくないため、定期考査や小テストはもとより、課題等の取り組みにも手を抜かず、丁寧に取り組んでください。

科目名	科学と人間生活	単位数	2	学年	1	学科	全学科
教科書	高等学校 科学と人間生活（第一学習社）			教材等	なし		
目　標	・自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。 ・科学技術の発展が，今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 ・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ，科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。 ・自然と人間生活とのかかわり，および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。						

授　業　計　画

	学　習　内　容	備　　考
1学期	第Ⅰ章　物質の科学 第２節　衣料と食品 ・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類，性質，および用途について理解する。 第Ⅱ章　生命の科学 第２節　微生物とその利用 ・多様な微生物と生態系でのはたらき，微生物と人間生活とのかかわりについて理解する。	評価要素 考査、パワーポイント、ワークシート、プリント、発表 自己評価、相互評価、ノート、実験
2学期	第Ⅲ章　熱や光の科学 第１節　熱の性質とその利用 ・熱の性質やエネルギーの変換と保存，有効利用とその利用について理解する。 第Ⅳ章　地球や宇宙の科学 第１節　自然景観と自然災害 ・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について理解する。	評価要素 考査、パワーポイント、ワークシート、プリント、発表 自己評価、相互評価、ノート、実験
3学期	第Ⅴ章　これからの科学と人間生活 ・自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえ，これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。	評価要素 考査、小論文 ノート

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 小テスト等	パワーポイント ワークシート プリント 発表 小論文	自己評価 相互評価 ノート 実験

担当者より	評価の観点の割合は、知識・技能:思考・判断・表現:主体的に学習に取り組む態度＝1:1:1です。

科目名	体育	単位数	2	学年	1	学科	全学科
教科書	現代高等保健体育(大修館)			教材等	種目に必要な用具		
目　標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	体つくり運動　（１０単位時間） 選択Ⅰ　（１１単位時間） ・器械運動 ・陸上競技 体育理論　（３単位時間）	集団行動・ラジオ体操第２・体ほぐしの運動・体力を高める運動 器械運動：マット運動、鉄棒 陸上競技：短距離走・リレー、ハードル走、長距離走、やり投げ 【体育理論】 スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義
2学期	体育理論　（３単位時間） 選択Ⅱ　下記から１種目（２４単位時間） ・球技（バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、テニス、バドミントン、卓球、ソフトボール） ・武道	【体育理論】 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境 球技：基本技能の修得 武道：柔道
3学期	選択Ⅲ　下記から１種目（１９単位時間） ・球技（バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、テニス、バドミントン、卓球、サッカー） ・ダンス	球技：基本技能の修得 ダンス：創作ダンス、現代的なリズムのダンス ※各選択種目は選択者の人数（男女比）等の都合により、開講できない種目があります。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	実技テスト　理解度テスト 発表会　技の出来映え 行動観察	行動観察　理解度テスト 実技テスト　レポート課題 発表会	行動観察 長期休業中の課題 発表会

担当者より	この科目では３観点をまんべんなく評価します。 自ら運動に親しみ、楽しく仲間と協力して運動をし、各種目のスキルを上達できるように頑張りましょう。

科目名	保健	単位数	1	学年	1	学科	全学科
教科書	現代高等保健体育(大修館)			教材等	自作プリント		
目　標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	現代社会と健康 1健康の考え方と成り立ち 2私たちの健康のすがた 3生活習慣病の予防と回復 4がんの原因と予防 5がんの治療と回復 6運動と健康 7食事と健康 8休養・睡眠と健康	・健康水準向上の背景について理解する。 ・健康の考え方やその保持増進について理解する ・健康にかかわる意志決定と行動選択について理解する。 ・生活習慣病、がんを予防し、健康を保持増進するには、適切な食事、運動、休養及び睡眠など、調和の取れた健康的な生活を実践することが必要であることを理解する。
2学期	9喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康 12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復 15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症・エイズとその予防 18健康に関する意思決定・行動選択 19健康に関する環境づくり	・喫煙、飲酒は、生活習慣病の要因となり健康に影響があることを理解する。 ・薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して様々な影響を及ぼすことを理解する。 ・精神疾患の予防と回復には、心身の調和に気付くことが重要であることや、疾病の早期発見及び社会的な対策は必要であることについて理解している。 ・感染症やエイズについてその実情や予防対策について理解する。
3学期	安全な社会生活 1事故の現状と発生要因 2安全な社会の形成 3交通における安全 4応急手当の意義とその基本 5日常的な応急手当 6心肺蘇生法	・交通事故の現状を知るとともに交通事故防止や安全な交通社会について理解する。 ・応急手当や心肺蘇生法の意義や方法を理解し、実習によりその習得をする。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 発言・発表の内容 提出物の内容	定期考査 発言・発表の内容 提出物の内容	授業準備 発言・発表の状況 提出物の状況

担当者より	この科目では「知識・技能」により重点を置いて評価します。 授業準備をしっかりして、正しい知識を身につけ、自分の考えを交えて発言できるように授業に取り組んでください。自らの健康観を改善していけるようにしていきましょう。

科目名	英語コミュニケーションI	単位数	3	学年	1	学科	全学科
教科書	All Aboard! English Communication I			教材等	Bricks1（いいずな書店） Listening Pilot Level1（東京書籍）		
目　標	聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指し、英語に関する総合的な資質・能力を育成する。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	Pre-Lesson 1 My name Is Ito Neko. オレの名前は伊藤ネコだ Pre-Lesson 2 I like Junk Food! オレはジャンクフードが好きだ！ 【be 動詞と一般動詞の基本的な使い方】 Lesson 1 Breakfast around the World 私の朝ごはん 【過去形の基本的な使い方】	教科書の内容に加えて、 ①Bricks を使った単語小テスト ②歌の暗唱テスト ③スピーチ・インタビューテスト も行います。 また、週に1時間ずつ、英語の作文やスピーキングの基礎となる基本的な文法事項を学んでいきます。
2学期	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物 【進行形についての基本的な使い方】 Lesson 3 A Train Driver in Sanriku 笑顔を運ぶ列車 【助動詞についての基本的な使い方】	
3学期	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景 【不定詞についての基本的な使い方】	

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 単語の小テスト	定期考査 パフォーマンステスト （歌・スピーチ・インタビュー）	考査課題プリント 長期休業中の課題 振り返りシートなど

担当者より	この科目では「知識・技能」と「思考・判断・表現」により重点を置いて評価をします。 定期考査だけでなく、パフォーマンステストに対しても積極的に取り組んでください。 また、授業中におけるさまざまな活動も積極的に評価をしますので、どんなことも前向きに学習していきましょう。

科目名	工業技術基礎	単位数	3	学年	1	学科	工芸デザイン
教科書	工業技術基礎 （実教出版）			教材等	教師自作教材		
目　標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどして、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を育成する。 (1) 工業技術について、工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 (3) 工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	1．素描　　素描 2．造形基礎　　摸刻、手びねり 3．構造原理　　紙による構成 4．構成原理　　色彩構成	クラスを４班にし、年間を4期に分けてローテーションする。 全体を通じて、工芸デザインの基礎となる観察力、構成力、表現力などを、ものづくりの体験を通して学び、合理的で計画的な工芸デザインの考え方と基礎的な造形力を身に付ける。 ・素描 観察と描写を通じて、形態を捉える力を養うと共に、形態の基礎を学び、見えるではなく、主観的に「見る」ということを理解し、形態表現の技術的な基礎力を身に付ける。 ・造形基礎 手びねりという技法を用いて靴の摸刻を製作する。 土という材料の性質と造形に対する理解を深める。 手びねりの基礎を習得する。 ・構造原理 ケント紙を使って、構造体を作る。簡単な形体から始めて、徐々に複雑な形を展開図によって構成する。 ・構成原理 形体の構成と配色による色彩構成を通し、構成原理とはどのようなことかを理解する。 また、平面技法の技術的な基礎力を身に付ける。
2学期	1学期と同じ。	
3学期	1学期と同じ。	

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	作品 取組姿勢の観察 プリント・振り返りシートなど	作品 長期休業中の課題 プリント・振り返りシートなど	取組姿勢の観察 長期休業中の課題 プリント・振り返りシートなど

担当者より	この科目では3観点を均等に評価します。造形によって様々な問題を解決するためには、考えを造形化、即ち、形にできるかが重要な要素になります。それを可能にするための基礎造形力を養う授業です。全力で取り組みましょう。 作品だけではなく、提出物や長期休業課題に対しても積極的に取り組んでください。 また、授業中におけるさまざまな活動も積極的に評価をしますので、どんなことにも前向きに学習していきましょう。

科目名	実習	単位数	3	学年	1	学科	工芸デザイン科
教科書	自作プリント等			教材等	教師自作教材		
目　表	工業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，工業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 工業の各分野の技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 (3) 工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	1．カービング　石の模刻 2．型　石膏及び、泥漿鋳込み成形 3．発想　アイデア・スケッチ・デザインの基礎 4．ろくろ　茶碗製作	4班編成で年間を4期に分けてローテーションする。 ・実習全体を通じては、工芸デザインの基礎となる観察力、構成力、表現力などを、ものづくりの体験を通して学び、合理的で計画的な工芸デザインの考え方と基礎的な造形力を身に付ける。 ・カービング 石の観察描写を通して、形態の基本的な成り立ちを把握し、正確で明快な表現技術を身に付ける。また、素材特長を生かし作品制作に挑む。 ・型 石膏を使い、型の基礎を学ぶ。割型の抜け勾配や、泥漿鋳込み成形の基礎を学ぶ。一連の作業内容を理解し、プロダクトの基礎を身に付ける。 ・発想 誰かのためのペンケースのアイデアを考えブレーンストーミングやブラッシュアップを通してデザインを考案する。デザインとは他者のためであることを理解する。 ・ろくろ 茶碗の製作を通じて、粘土の特性や道具や設備について理解させると共に、「用の美」についての理解を深める。また、ろくろの技術的な基礎力を養うと同時に、立体造形の基礎力を涵養する。
2学期	1学期と同じ	
3学期	1学期と同じ	

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	作品 取組姿勢の観察 振り返りシート	作品 振り返りシート 長期休業中の課題	取組姿勢の観察 振り返りシート 長期休業中の課題

担当者より	造形によって様々な問題を解決するためには、考えを造形化、即ち、形にできるかが重要な要素になります。それを可能にするための基礎造形力を養う授業です。全力で取り組みましょう。 三観点を均等に評価します。授業だけではなく、休業課題なども積極的に取り組んでください。授業中におけるさまざまな活動も積極的に評価をしますので、どんなことにも前向きに学習していきましょう。

科目名	製　図	単位数	2	学年	1	学科	工芸デザイン科
教科書名	デザイン製図（実教出版）			使用教材等	自作プリント		
目　標	製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てるとともに立体の認識力を高める。						

授　業　計　画

	学習内容	備　考
1学期	2班編制同時展開(ローテーションにて履修) 〈製図A〉 ・製図用具とその使い方 ・製図通則（図面の役目） ・三面図（第三角法）の基礎 〈製図B〉 ・立体認識力向上のための練習 ・一点透視図法の基礎 ・トレースの練習	・製図の道具の使い方、規格を理解し、活用できるようにする。 ・図面の意義を把握させ、図面がどんな役目を果たすか理解する。 ・等角図を中心とした立体的な図示法を理解する。 ・透視図の原理を理解し、平行透視図法による作図法を習得する。 ・トレースを行うことで図面の正確さと作図速度の向上を図る。
2学期	〈製図A〉 ・三面図の応用（実長・断面・展開） 〈製図B〉 ・一点透視図法の応用 ・二点透視図法の基礎	・三面図の特性を理解し、図面上で形状の操作を行うことができる。 ・一点透視図を用いて実践的な作図を行う。 ・二点透視図の原理を理解し、作図法を習得する。
3学期	〈製図A〉 ・三面図の応用（相貫体の作図） 〈製図B〉 ・二点透視の応用	・二つ以上の物体が相貫した形状の作図を理解し相貫線を求めることができる。 ・二点透視図を用いて実践的な作図を行う。

評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 授業プリント 小テスト	定期考査 授業プリント 小テスト	取組姿勢 長期休業中の課題等

担当者より	この科目では３観点を均等に評価します。日頃の学習活動を大切にし、積極的に取り組みましょう。課題プリントへの取り組みもしっかり行ってください。

科目名	工業情報数理	単位数	2	学年	1	学科	工芸デザイン
教科書	工業情報数理 （実教出版）			教材等	情報Ⅰ　資料ノート(東京書籍)		
目　標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野における情報技術の進展への対応や事象の数理処理に必要な資質・能力を育成する。 ⑴　工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ⑵　情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 ⑶　工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	第1章　産業社会と情報技術 第2章コンピュータの基本操作とソフトウェア アプリケーションソフトウェア ・文書ソフト「Word」 基本操作からの文書作成 ・描画用ソフト「illustrator」 基本操作からの練習課題	・情報化社会において、守らなければならない規則や安全に利用するための必要な知識を理解する。 ・「Word」「illustrator」の基本操作を習得する。 ・「Word」の基本操作を習得し、ビジネス文書を作成する。 ・「illustrator」の基本操作を習得し、デジタルデータでのデザインを作成する。
2学期	第3章　プログラミングの基礎 第6章　ハードウェア 第7章　コンピュータネットワーク アプリケーションソフトウェア ・表計算ソフト「Excel」 基本操作からの練習課題 ・画像編集用ソフト「Photoshop」 基本操作からの練習課題	・「Photoshop」「Excel」の基本操作を習得する。 ・コンピュータの仕組みや動作についての基本的な内容を理解する。 ・「Excel」の基本操作を習得し、情報をまとめることができる能力を習得する。 ・「illustrator」の基本操作を習得し、デジタルデータでのデザインを作成する。
3学期	第8章　コンピュータ制御 第9章　情報技術の活用と問題の発見・解決 アプリケーションソフトウェア ・プレゼンテーションソフト 「PowerPoint」 1,2 学期の内容を利用した課題制作	・「Word」「Excel」「illustrator」「Photoshop」の技術を連携させ、「PowerPoint」でプレゼンテーションを作成できる能力を習得する。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 授業中課題 取組姿勢の観察	定期考査 授業中課題 プリント・振り返りシートなど	取組姿勢の観察 長期休業中の課題 プリント・振り返りシートなど

担当者より	この科目では「知識・技能」と「思考・判断・表現」により重点を置いて評価をします。 社会における情報化の進展と情報の意義を理解し、コンピュータの知識と技術を習得して、伝達手段としてのコンピュータ活用を学んでほしいと思います。 定期考査だけでなく、提出物や提出期限に対しても積極的に取り組んでください。また、授業中におけるさまざまな活動も評価をしますので、どんなことにも前向きに学習していきましょう。

科目名	デザイン実践	単位数	2	学年	1	学科	工芸デザイン科
教科書名	デザイン実践（実教出版）			使用教材等	デザインの色彩（日本色研） 教師の自作教材		
目　標	デザインに関する知識を習得し、実際に創造し応用する能力と態度を育てる。また、デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。						

授　業　計　画

	学習内容	備　考
1学期	・デザインの領域 ・視覚と色彩 ・色を規定する ・配色 ・色と感覚 ・文字	・デザインのはじまりと意義を理解する。 ・デザインの領域とそれぞれの領域について人や環境との関わりを学習する。 ・色の三属性、カラーシステム、混色の知識を学び、デザイン実習に必要な知識を習得する。 ・書体に関する学習の前段階として、文字の成り立ちや形にイメージや感情が付加できることを確認する。
2学期	・日本語書体 ・欧文書体 ・表示の技術と構成 ・写真 ・デザインの構成原理	・日本語書体、欧文書体に関する知識と活用法を学ぶ。 ・デザインに必要な表示、材料と用具を学習する。 ・観察と表示、表示から表現へのデザイン活動に重要なプロセスを学ぶ。 ・写真を通して画面の構成やデジタル画像の基礎を学ぶ。 ・ポスターの企画を通して、コンセプトの構築や発想について学ぶ。
3学期	・マーケティング ・1年を振り返りデザイン学習について考える。	・マーケティングの学習をすることで、デザイン活動について深みを持たせる。 ・１年で学習したことを振り返り、デザインの諸活動として大切なことをまとめる。

主な評価法担当者から一言	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 プリント 取組姿勢	定期考査 プリント アイデアスケッチ	取組姿勢 プリント 長期休業中課題

担当者より	長期休業中課題においては一定の成果に達するまで繰り返し行うものもあります。期日を守り粘り強く取り組んでください。この科目では「知識・技能」と「思考・判断・表現」により重点を置いて評価をします。

科目名	せともの学Ⅰ	単位数	2	学年	1	学科	工芸デザイン
教科書	なし			教材等	瀬戸焼ハンドブック、 プリント、powerpoint 資料		
目　標	地元の伝統産業である「瀬戸焼」を中心に、せとものの歴史、知識や技術の学びを通し、我が国における伝統産業の社会的意義や役割を理解させ、新たな次代を切り拓く産業人の育成を目指す。また、せとものを題材とした、グループワーク等を取り入れた実践的学習により、合理的かつ創造的に自ら考え解決する力を身につけ、伝統産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢と態度を養う。						

授　業　計　画

	学 習 内 容	備　　考
1学期	オリエンテーション	授業への取り組み　せとものの話
	愛知県立瀬戸工科高等学校について	校訓　「誠実」「協力」「創造」 沿革　明治28年～瀬戸陶器学校 初代校長　北村弥一郎先生 嘉仁親王殿下行啓　昭和天皇ご視察 校歌　歌詞について　猿投山
	陶磁器の分類	陶器　磁器　炻器　土器の比較から解る分類 素地の色や打音等をもとに比較する。
	瀬戸焼ができるまで	採土からの製造工程 採土　製土　成形　乾燥　素焼　絵付　施釉 本焼成　（上絵付）
2学期	瀬戸焼の特徴	生活のなかのやきもの 瀬戸の釉薬 瀬戸染付 ノベルティ
	瀬戸焼の歴史	瀬戸焼前史 瀬戸窯業の発生（灰釉陶器から山茶碗生産へ） 古瀬戸はじまり 陶祖藤四郎と瀬戸焼の始まり 瀬戸大窯の時代と六古窯 瀬戸山離散 桃山陶器（黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部） 尾張藩政下の瀬戸 磁祖加藤民吉と瀬戸の磁器生産 陶祖と磁祖 近代の瀬戸窯業
	工芸について	工芸の定義
	せともとと愛知県の伝統産業	この地域の代表的な伝統産業
3学期	「せともの」の研究	地域の産業としての「せともの」 研究の展開 発表の練習　班内での協議
	「せともの」に関する発表	グループ発表

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	定期考査 課題プリント 小テスト	定期考査 発表	定期考査 ファイル 長期休業中課題

担当者より	専門性のある科目です。自ら教科書などで調べ、わからない時はよく質問してください。 三観点を均等に評価します。定期考査だけでなく、提出物を丁寧に取り組み、期限を守ることが重要です。 学習の取り組みをその時間やその日で完結させることが大切です。